

海女



日めくり万年カレンダー

海女は50秒の勝負。

海女は、限界ぎりぎりまで息を使い切って潜水作業を繰り返します。そのために独特の潜水技術を身につけており、50秒の中でいかに獲物を見つけられるかが勝負と言われています。

1



4

夫ひとり
養えんようでは
妻の資格がない。

古くからの海女気質で、かつては海女漁だけで一家を支えていたといわれる海女。現在のキャリアウーマンでも、この気持ちにはなかなかかなわないでしょう。



夫婦の呼吸が 物をいう。

夫婦で船に乗り漁へでかける海女を「船人海女」といいます。船人海女は水深10〜20メートルくらいまでの深いところへ潜水し、浮上するときには腰に縛った命綱を船の上の夫が引き上げます。まさに、夫婦の呼吸がぴったり合わないときでない作業です。

7

11



5000年の歴史。

日本には縄文時代から素潜りで獲物を獲る人がいたと言われており、実際に、鳥羽市浦村町の白浜遺跡からは大量のアワビ殻と鹿角製のアワビオコシが見つかっています。

しろんごまつり。

15

菅島のしろんごまつりは古くから地元で「しろんごさん」と呼ばれてきました。島の守護神である白髭大明神を奉り、数百年の昔からこの島の人々によって受け継がれてきた伊勢志摩を代表する海女の祭です。

日本一。



伊勢志摩は日本で一番海女の多い地域で、
今でも約 700 人の海女が操業しています。

19



ヨモギは 必需品。

水中メガネの曇り止めは、
ヨモギを使います。

23

喧嘩している わけではない。

海女さん同士の会話は、普段、海の上など、聴き取りにくい場所での会話が多いため、声がとても大きく、言葉は端的であり、喧嘩をしているように感じる場合があります。



27

A close-up, high-angle shot of a person's feet warming themselves over a fire in a traditional stone hearth. The fire is bright orange and yellow, with glowing embers. The person is wearing dark green or black clothing. The hearth is made of rough-hewn stones and contains several logs of wood. The background is dark and out of focus, suggesting an outdoor or semi-outdoor setting.

火にあたれ。

31

海女さんの仕事は体力勝負。海からあがってくると、冷えた身体を火で芯から温めます。疲れた身体をしっかりケアする。これが、生涯現役の秘訣。